



MERIDIAN

展示会通信 54号

神戸学院大学有瀬図書館

2020年3月12日発行

～公演パンフレットで振り返る～
日中演劇交流

展示期間：2020年3月5日(木)～3月31日(火)

開催場所：神戸学院大学有瀬図書館

本館2階エントランス展示コーナー

*開催時間や開催場所は変更になることがあります。図書館HP・掲示にて、ご確認のうえご来館ください。

2月の展示では伊藤茂先生が中国で観劇された約40年間の公演パンフレットを紹介しました。今回の3月の展示では、伊藤先生が日本で観劇された中国演劇の公演、日本の演劇人が関係した中国演劇の公演と日中の演劇人がコラボした公演、

日本で上演された中国演劇（京劇以外）



「川劇」



「越劇」

中国の演劇というと京劇が有名ですが、現代演劇の「話劇」、さらに300を超える各地の地方劇が、現在でも活発に公演を行っています。今回の展示でもユネスコの無形文化遺産に認定された昆劇を始め、陝西省の秦腔、四川省の川劇、河北省の河北梆子、安徽省の徽劇、浙江省の越劇など、中国各地の地方劇が日本で上演されていたことがわかります。

日本における京劇公演



「北京京劇院」



「天津京劇院」

津田忠彦氏は1986年から2019年まで日本における京劇公演をプロデュースしてきました。伊藤茂先生とは互いに1984年の3千人訪中国の一員として参加して以来の交流がありました。そのため伊藤茂先生は津田氏が関係した京劇の日本公演をほぼ毎回観劇されており、一部は神戸学院大学でも上演されました。

さらに本学で 1988 年より毎年開催されている Green Festival
で上演された中国演劇関連の公演パンフレットなどを通じて
1980 年代以降の日本と中国の演劇交流を振り返ります。

神戸学院大学で上演された中国演劇



「泉州糸操り人形劇」



「梁山伯と祝英台」



「Green Festival」ポスター

伊藤茂先生は 1988 年に始まった本学主催の芸術公演 Green Festival で
多くの中国演劇関連の公演をプロデュースされてきました。各地の京劇団の
招聘公演のほかにも、2002 年の京劇と狂言の共演や、所属の異なる越劇界の
名優 3 人がコラボした 2016 年の越劇『梁山伯と祝英台』など、Green Festival
でしか観られない公演もあります。

日中演劇交流



「阿Q正伝」



「下周村」

日本と中国の演劇人がコラボした公演のほかに、中国の演目を日本の演劇人団体が
上演、日本の演目を中国の演劇人や団体が上演など、演劇交流の形態はさまざまです。
魯迅の小説『阿Q正伝』の日本版や、劇団四季の協力の下で中国人俳優が上演した
ミュージカル『人間になりたかった猫』などの公演パンフレットも展示されています。

パンフレットに掲載された解説文



杉山 太郎「梅花賞を受賞し、国家一級演員の称号を持つ二人」



伊藤 希言「史敏と巖慶谷の新作」

公演パンフレットを読む楽しみの1つに、中国演劇の専門家による解説文があります。それらの中には、中国演劇の理解に有用なものが少なくありません。伊藤茂先生が執筆されたものも含めてその一部を紹介しています。

編集後記

前回に引き続き、伊藤 茂先生のコレクションを公開しています。今回の展示では、日中演劇交流と題して、中国のさまざまな劇の資料が展示されています。特に、中国の伝統的な戯曲である『京劇』の資料の多さは圧巻です。また、本学と中国の演劇団とのコラボ演劇に関する貴重な資料も公開されています。伊藤先生の資料を介して、日中文化交流の歴史が窺えます。ぜひご覧ください。

神戸学院大学図書館 展示会通信 MERIDIAN 第54号

2020年3月12日発行

発行・編集：神戸学院大学 有瀬図書館

〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬 518

TEL：078(974)4584 E-mail：pub-lib@j.kobegakuin.ac.jp

ホームページ URL：http://opac.kobegakuin.ac.jp/